

令和7年
伊豆市議会 12月定例会

一 般 質 問

令和7年12月

令和7年伊豆市議会12月定例会一般質問者と質問事項

12月2日（火）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
1	8. 波多野 靖明	1 地域の防犯力向上に向けた小中学校での「体験型防犯教育」について	市 長 教育長	3
		2 普通救命講習の計画的実施について		4
2	14. 木村 建一	1 民間宅地開発支援補助金は今年度で終了ですか	市 長	5
		2 通う高校の選択を広げる伊豆市にしませんか		5
		3 公園遊具の寄付制度		6
3	5. 黒須 淳美	1 教育の特色化と持続可能なまちづくりのために	市 長 教育長	7
		2 防災活動の推進は市民との協働から		8
4	10. 青木 靖	1 保育・教育の施設整備と人材確保の対応	市 長 教育長	10
5	13. 森 良雄	1 修善寺駅西口の芝生の補修	市 長	12
		2 狩野川の清流を守ろう		12
		3 教員の多忙を解消しませんか	教育長	13
		4 駿河湾フェリーの運航は	市 長	14
		5 土肥の津波対策		15

12月3日（水）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
6	4. 小川 多美子	1 認知症について	市 長	17
		2 モバイルバッテリーによるごみ処理施設の火災リスク対策について		18
7	11. 三田 忠男	1 伊豆市における医療・介護・福祉・教育人材の確保について	市 長 教育長	20
		2 スポーツアスリートによる地域活性化への行政支援について		21
8	12. 小長谷 順二	1 情報セキュリティ対策	市 長 教育長	22
		2 職員の人材確保・育成について	市長	23
9	1. 尾垣 和則	1 認知症の周囲の理解とその対応	市 長 教育長	24
		2 避難所となる学校施設の防災機能強化の推進		25
10	9. 間野 みどり	伊豆市美術館建設について	市 長 教育長	27

12月4日（木）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
11	2. 飯田 大	修善寺中学校、修善寺南小学校と周辺の現状と将来構想について	市 長 教育長	30
12	3. 浅田 藤二	地元産業の育成	市 長	32



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和7年11月14日

伊豆市議会議長 様

議席番号 8 議員名 波多野 靖明

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (<input checked="" type="checkbox"/> 一括 ・ 分割) ※発言予定時間 (<input checked="" type="checkbox"/> 20分 ・ 30分) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1. 地域の防犯力向上に向けた小中学校での「体験型防犯教育」について	<p>まずは伊豆地域での事例から紹介いたします。</p> <p>(1) 伊豆の国市では路上で男子高校生がつきまとい・肩を叩かれ、スマホで卑わいな画像を見せられる事案が発生。</p> <p>(2) 函南町では車内から児童らに「〇〇まで行くから乗ってきな」と声かけ。</p> <p>(3) 伊東市では公園で女子小学生らにスマホを向ける盗撮事案。</p> <p>(4) 河津町では男子小学生がすれ違いざまに腹部を触られる接触事案。</p> <p>これらは、今年だけの県警やニュースで公表されている子どもたちが被害になった事例の一部です。</p> <p>登下校中や公園等で声かけ・つきまとい・接触・盗撮などの事例が確認されています。</p> <p>私はこうした現実を前に、子どもたちが自分の身を守る力と、万一の場面にいのちをつなぐ初期対応を身につけることが急務だと考えます。</p> <p>そこで、伊豆市として、体験型の防犯教育（危険察知・離脱・通報のロールプレイ等）を、実施できる仕組みを整えるべきと考えます。</p> <p>これは教育委員会が調整役となり、警察・消防・PTA・地域の事業者と連携して、スケジュールや講師体制を準備し</p>	市長 教育長

件名	内容	答弁を 求める者
2. 普通救命講習の 計画的実施について	<p>て、学校の負担をあまり増やさずに進めることはできるでしょうか。計画的な実施を検討する必要があると考えますがいかがでしょうか。</p> <p>全国では、学校で救命を学んだ生徒が尊い命を救った事例が報じられています。例えば、</p> <p>(1) 静岡市清水区のショッピングモールで、救命講習を受講した高校生が心肺停止の 70 代男性に心肺蘇生を行い、救命につなげた事例。</p> <p>(2) 埼玉県草加市では、自転車走行中に突然倒れた 10 代男性に対し、高校の授業で心肺蘇生法を学んだ高校生が救急隊到着まで継続した事例。</p> <p>(3) 鹿児島市では、前日に救命講習を受けた中学 1 年生が、路上で倒れた 40 代男性に心臓マッサージを継続し救命につなげた事例。</p> <p>県内の中学校でも、心肺蘇生法や AED の使い方を学ぶ授業や、消防・関係団体による実技指導の機会が増えていると承知しています。</p> <p>加えて、伊豆市では本年 10 月、伊豆中学校 2 年生 153 人を対象に、普通救命講習の修了と県主催「ふじのくにジュニア防災士」資格のダブル取得を目指す、防災教育プログラムが開始されました。こうした取組は、子どもたちに「いのちをつなぐ初期対応」を身につけさせる上で大変有意義であり、評価しております。</p> <p>これらの取組は一過性で終わらせず、学校単位で計画的かつ継続的に実施していく方針はあるのでしょうか。また、年度ごとの実施計画・対象学年・受講目標人数・指導体制（消防・関係団体との連携）について、見解を伺います。</p>	市長 教育長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和7年 11月 14日

伊豆市議会議長 様

議席番号 14 議員名 木村建一

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問(一括・分割) ※発言予定時間(20分・30分) ②質疑 ③討論(反対・賛成) ④その他()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	求 め る 者
1. 民間宅地開発支援補助金は今年度で終了ですか	<p>民間宅地開発支援補助金について、少し過去をふりかえりながらお聞きします。</p> <p>① 令和4年6月から施行された事業で、令和8年3月31日までに交付決定を受けた事業に対する補助としていましたが、残念ながら今年度は予算化されていません。令和6年度の定期監査報告には「民間開発による制度利用が起爆剤となって不動産環境の活性化を期待する」とありますが、1年前倒しで終了ということでしょうか。</p> <p>② 拠点性が高いと位置付けた4つの補助対象区域は、どうなっていますか。</p> <p>③ 令和6年度の予算には、この事業は1,500万円で可決されましたが、決算書には記載がありませんでした。補助金を申請した民間業者がいなければ、決算書に記載されないということですか。減額補正もありませんでした。財政法上、どう処理したのでしょうか。</p>	市 長
2. 通う高校の選択を広げる伊豆市にしませんか	<p>① 9月定例会で、伊豆総合高校とそれ以外の公立・私立高校生についての市長答弁を聞きましたが、そもそも、伊豆市長という立場から、両者を比較する必要性はあるのだろうかと思いましたが、所見をお聞かせください。</p>	市 長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
3. 公園遊具の寄付 制度	<p>② 9月議会で私は「高校進学などこれからのことを考えると、中学校までとは比べものにならないくらいの出費になるので、市からの何かしらの援助があるとありがたい」と、議会で中学校PTA役員の皆さんと語る会で話された保護者の願いを市長に伝えました。それに対し市長は「そういう価値判断を否定はしない。おかしいとは思わない」と答弁されました。また「三島、沼津に通うためにお金を出すというのは、現時点では余力はない。伊豆市長としてやるべきは、伊豆総合高校を魅力ある高校に」と述べられましたが、家計の心配をせずに、子どもたちが通う高校を選択できる伊豆市にしませんか。</p> <p>③ 学びが多様化し、高校で何を学びたいのか、卒業後の進路を見据えた高校選びの選択肢を広げる環境が必要と考えています。再度お尋ねします。伊豆市として就学支援金の仕組みを検討しませんか。</p> <p>自治体が行う寄附制度、ふるさと納税制度を活用して遊具の設備費に使うとのことですが、「3,000万円の目標額に達しなかった場合」と「3,000万円以上になった場合」をあげていますが、遊具設置への取り組みに違いありますか。</p>	市 長



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 7年 11月 14日

伊豆市議会議長 様

議席番号 5 議員名 黒須淳美

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (<input checked="" type="checkbox"/> 一括 ・ 分割) ※発言予定時間 (20分 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 30分) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 教育の特色化と 持続可能なまちづ くりのために	<p>依然として人口減少が続いている本市において、まちの持続可能性を確保するには、行政の効率化だけでなく、“人を惹きつける魅力”をどうつくるかが鍵になります。</p> <p>子育て世代の移住・定住促進にも「子どもの教育環境」は重要な項目となると考えます。</p> <p>ここでしかできない体験を安心して学べる環境づくり、そして未来を支える「人への投資」など教育に力を入れることは、地域の活力を生み出し、さらにはまちづくりにもつながっていきます。</p> <p>伊豆市ならではの特色を出すことで「子育て世代が選ぶまち・伊豆市」を目指し、英語によるイマージョン教育の検討をしていただくことはできるでしょうか。</p> <p>イマージョン教育とは「外国語を教科としてではなく手段として他の教科を学ぶことで言語を習得する教育方法」「母語と外国語の両方の語学力を伸ばすために、目標言語(イマージョンランゲージ)で教科を学ぶこと」と定義される外国語の教育法のひとつです。</p> <p>伊豆市で育つ子どもたちが英語で臆することなくコミュニケーションでき、グローバル社会において国際理解や共生の心が育つなど、将来を見据え、持続可能なまちづくりにつながる施策として、取り組んでいくことが重要と考え</p>	市長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>2. 防災活動の推進 は市民との協働から</p>	<p>以下について伺います。</p> <p>① 教育の充実を、まちづくりの重要な戦略の柱と位置付けることについてどのように考えますか。</p> <p>② 伊豆市の小中学校、義務教育学校での英語教育の取組の特色として挙げるとしたらどのようなものがありますか。</p> <p>③ 姉妹都市カナダネルソン市との国際交流について、学校で英語教育を取り入れるとしたらどのようなテーマや内容が考えられますか。</p> <p>④ 将来を見据え、英語でのコミュニケーション力強化のために、小学校から英語によるイマージョン教育のような特色のある教育を、まずモデル校として始める意向はありますか。</p> <p>現在建設中のひなた公園と危機管理センターは、来年4月にそれぞれお披露目を迎えることとなりますが、その供用後の運用について伺います。</p> <p>ひなた公園は、災害時には防災公園として一時的な避難所として命を守る重要な拠点となり、また平常時には公園として憩いの場を市民に提供してくれます。</p> <p>3階建ての危機管理センターには、本庁にある危機管理課が移り、災害対応に備えた防災倉庫や情報機器の設備など、正に本市の防災対策の拠点として整備されているところです。</p> <p>このように、防災対策のハード面が着々と整えられている中、これらの施設が日常の市民の防災意識や行動変容を高め合う場として機能していくことも求められると考え、以下について伺います。</p>	<p>市長 教育長</p>

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>① ひなた公園と危機管理センターの供用開始後の、具体的な運用案はありますか。</p> <p>② 防災体制の強化と市民との協働を推進するような取り組みについて、例えば、平常時の公園としての使い方だけでなく、防災を意識できる利活用についてはどのように考えますか。また、危機管理センターの会議室の活用方法として、防災講座など市民が積極的に利用できる環境を整えることが必要ではないかと考えますがいかがですか。</p> <p>③ 例えば市の情報メールや LINE などを使って、AI や防災アプリを活用した発信を定期的にする事で、災害への関心や備えを日頃から考えるきっかけになるのではないかと考えますが、このような取り組みについてはどのように考えますか。</p> <p>④ 市民の防災意識を高めるためにも身近な防災指導員や防災士の方々との連携が鍵となります。このような市民との協働について組織的な構築が必要と思いますがどのように考えますか。</p> <p>⑤ 隣接する伊豆中学校では2年生の総合学習の時間に防災教育を行っています。中学生たちが防災活動に関わることで地域防災力向上につながると考えますが今後の展望はどうですか。</p> <p>⑥ 施設オープンを記念して、見逃されがちな災害時のトイレ問題などに目を向けてもらうよう、携帯トイレなどの防災関連グッズを各戸配布するなどの事業を、検討してはいかがでしょうか。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和7年 11月 14日

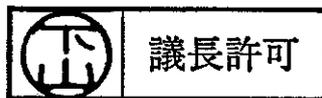
伊豆市議会議長 下山 祥三 様

議席番号 10 議員名 青木 靖

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問(一括・分割) ※発言予定時間(20分 30分) ②質疑 ③討論(反対・賛成) ④その他()
発 言 の 要 旨	
件 名	内 容
保育・教育の施設整備と人材確保の対応	<p>伊豆市は市政施行以降、これまで新しいまちの形を作ってきました。少子高齢化・人口減少の傾向の中にあって、子育てや保育・教育には、特に注力してきた経緯があります。</p> <p>これまで、一つひとつ、こども園・小学校・中学校の再編成と園舎・校舎の整備が進められている途中ですが、設備の大規模な改修や更新が済んでいないところも残っており、古い建物が問題を抱えたまま使われている現状もあると、感じます。</p> <p>また、保育の現場では、子育て支援の事業に力を入れて進めている反面、人員の余裕が無く、本来行いたい保育の質が維持できなくなったり、人材確保に影響したりする懸念もあります。</p> <p>① 現在、こども園・小学校では、設備面での維持管理・設備改修の必要な個所を点検して、法令に準拠した施設の設置・整備及び改修の計画が立てられているのか、確認します。</p> <p>② 園児・児童が園・学校で学習・生活する上で、支障がある事象は発生していませんか。雨漏りへの対応、トイレの改修と使用状況、職員を含めた更衣室・休憩室の状況はいかがですか。</p>
	答 弁 を 求める者
	市 長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>子育て支援策として行っている事業において、利用者のニーズの把握や、対応する人員の配置の状況を検証して対応していますか。また、保護者の就労状況・就労支援の観点から、園児・児童の自宅以外での時間の過ごし方に対して、市としての人的対応をどのように考えるのか、以下伺います。</p> <p>③ 人材確保に懸念がある保育士の現場の状況を、どのように考えていますか。特に、休日保育、病児保育・病後児保育において、課題と今後の方向性について伺います。</p> <p>④ 放課後児童クラブや待合場所の運営について、現状の人的・設備的な課題等の認識と、今後の対応方針について伺います。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和7年11月12日

伊豆市議会議長 様

議席番号 13 議員名 森 良雄

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (<u>一括</u> ・ 分割) ※発言予定時間 (20分 ・ <u>30分</u>) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	求 め る 者
1. 修善寺駅西口の芝生の補修	<p>修善寺駅西口の芝生広場の補修についてお伺いします。</p> <p>広場の北東端には芝生がえぐられたところがあり、芝生の補修が1年近くされてません。なぜか、広場の北東の端だけが芝生がなくなったまま放置されています。お天気の良い日は、毎日のように近くのこども園の子どもたちが遊びに来ています。手入れさえされていけばきれいな緑の芝生広場です。</p> <p>次の点について伺います。</p> <p>① なぜ、ここだけ補修されないのですか。</p> <p>② すぐに補修していただけますか。</p> <p>③ いつまでに補修していただけますか。</p> <p>④ 今後、芝生を傷つけた者は芝生の中へ車の乗り入れは禁止しませんか。修理を義務付けませんか。</p> <p>⑤ 芝生を傷つけるような使用は禁止しませんか。</p> <p>⑥ 定期的な芝生の維持管理をしませんか。</p>	市 長
2. 狩野川の清流を守ろう	<p>狩野川の清流を守りませんか。</p> <p>狩野川が水質最良の河川に選定されたようです。私の見たところでは到底、清流とは見えません。</p> <p>次の3点について質問します。</p> <p>① 水質最良の河川と選定した機関はどこですか。</p>	市 長

件名	内容	答弁を 求める者
3.教員の多忙を解消しませんか	<p>② 水質の検査地点はどこですか。</p> <p>③ 水質の汚濁についてはどんな検査をしていますか。透明度は検査していますか。泡は検査していますか。</p> <p>伊豆市では新中学校の建設など教育に熱心です。しかし、何をしても伊豆市の衰退は止められません。伊豆市の衰退は人口の減少で見ることができます。伊豆市の人口減少は猛烈なスピードで進んで、年間に人口の1.2%が減少しています。</p> <p>日本の人口減少は、年間に人口の0.1%です。まさに伊豆市の人口減少は国の人口減少の10倍以上の速さです。猛烈なスピードと言わざるを得ません。</p> <p>菊地市長の市政の20年間は伊豆市の衰退の歴史です。人口は1万人も減少しているのです。学校建設に熱心なのは良いですが、中身の充実も必要です。いろいろと施策を講じていますが、方向転換が必要です。新しい学校を作り、設備も新しくしました。これからは教育の中身の充実が必要です。</p> <p>今、学校の現場では教員の多忙が話題です。OECDの調査でも、日本の先生の勤務時間は長いようです。教員の勤務時間の長さは世界的に見ても長いです。</p> <p>伊豆市では、先生の勤務時間の短縮が進んでいるようですが、中身の改善が必要です。</p> <p>孟母三遷の教えもあります。先生の働き方の改善で、伊豆市の教育の充実を図りませんか。中身の充実が必要です。</p> <p>教育の充実で伊豆市のイメージを変えましょう。</p> <p>次の質問をします。</p> <p>① 補助教員を充実しませんか。</p> <p>② 補助教員の充実で、先生の雑務を減らしませんか。</p> <p>③ 補助教員の充実で、教育内容の充実を図りましょう。</p>	教育長

件名	内容	答弁を 求める者
4.駿河湾フェリーの運航は	<p>④ 専門家を使い先生を不登校やいじめの対応に時間をさけるようにしませんか。</p> <p>⑤ 専門家を使い、保護者のカスハラに対応しませんか。</p> <p>⑥ 電話での保護者の長時間の対応は、時間制限を設けませんか。そして、対応者を専門家に任せませんか。</p> <p>駿河湾フェリーは、11月6日から運行を再開しました。駿河湾フェリーは運行を始めてから20年になります。伊豆市の誕生とほぼ同じです。</p> <p>残念ながら満足な運航と収益はほとんどありません。これから運行にかかる経費はますますかかるでしょう。スクリーンの破損などはずさんな港湾管理ともいえます。港湾の管理の責任は、静岡県だと思いますが、今後の運航が順調に進められるのか不安です。</p> <p>駿河湾は冬季は季節風の強いところです。フェリーの運行はお天気まかせのところもありますか。</p> <p>11月8日の静岡新聞の社説では、厳しい静岡県の財政を指摘しています。なぜここまで放置してきたかと指摘しています。静岡県は2026年度の県予算の編成に危機感を持っています。平木副知事は「財政危機宣言レベルだ」と、危機感をあらわにしているそうです。</p> <p>静岡県の2026年度予算の財源不足額は640億円だと言われます。県は財源不足を補うため歳入・歳出の総点検を進めているようです。</p> <p>以下の質問をします。</p> <p>① 今後、収益を上げることができると思いますか。</p> <p>② 今年度の売り上げ目標はどのくらいですか。</p> <p>③ 来年度の県の補助金の見込みはいくらですか。</p> <p>④ 来年度の売り上げの見込みはどのくらいですか。</p> <p>⑤ 運行にかかる経費はどのくらいですか。</p>	市長

件名	内容	答弁を 求める者
5.土肥の津波対策	<p>⑥ 損益分岐点はどのくらいですか。</p> <p>⑦ 来年度の売り上げ目標は立てていますか。</p> <p>⑧ 来年度の稼働日はどのくらいですか。</p> <p>⑨ 来年度の伊豆市の負担は増えると思いますか。</p> <p>⑩ 来年度の伊豆市の負担は今年度と同じですか。</p> <p>土肥の津波対策に変更はありませんか。国の地震対策に変更はありませんか。</p> <p>自衛隊の災害派遣の三原則なるものがあるようです。市当局は当然承知していると思いますが、三原則は公共性、緊急性、非代替性の3つのようです。</p> <p>先の牧之原市の竜巻では、この3原則の解釈に疑義があり、自衛隊の派遣がなかったようです。</p> <p>伊豆市では災害時には自衛隊の派遣を期待しているようですが、こんなこともあるようです。もともと、市長と自衛隊には太いパイプがあるようです。こんなことは当然ないと思います。しかし、市長は市外にいるときも多いようです。できるだけ伊豆市に居るようにしてほしいものです。</p> <p>さて、先般のカムチャツカ半島で発生した地震では、津波警報が発令されました。結果的にはさほどの津波は観測されませんでした。土肥地区では避難指示が出されました。</p> <p>この地震は、遠いカムチャツカ半島を震源とする地震で大きな津波はありませんでした。</p> <p>今、我々が想定する津波は南海トラフを震源とする津波です。近場では100kmと離れてません。日本の地震研究は、世界でもトップクラスといわれています。しかしその地震研究でも事前には予測が難しいようです。</p> <p>市長はどう思いますか。津波警報は出ると思いますか。</p>	市長

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>駿河湾を含む南海トラフ地震が想定されています。想像を絶する巨大な地震です。</p> <p>その予測が研究されていますが、「現在の科学では不可能」といわれています。この点は承知しているのでしょうか。</p> <p>読売新聞によると、政府は1995年の阪神大震災では、前兆をつかめませんでした。政府はその前提で対策を進める方針のようです。</p> <p>次の質問をします。</p> <p>① 津波警報について、政府の方針を承知していますか。</p> <p>② 南海トラフ地震で津波警報が出ると考えますか。</p> <p>③ 津波警報が出る前に津波が来ることはありませんか。</p> <p>④ 地震が発生してから、どのくらいで津波は到達すると考えていますか。</p> <p>⑤ 南海トラフ地震による巨大津波が襲ってきた場合伊豆市ではどのくらいの被害を想定していますか。</p> <p>⑥ 津波の高さはどのくらいですか。</p> <p>⑦ オレンジゾーン内の住民はどのくらいいますか。</p> <p>⑧ そのうち、自力避難できる方は何人ですか。</p> <p>⑨ 自力非難の困難な方はどのくらいですか。</p> <p>⑩ 南海トラフ地震が発生した場合に、伊豆市の外から救援があると考えていますか。</p> <p>⑪ 南海トラフ地震が発生した場合、自衛隊が救援に来ると思いますか。すぐに自衛隊が来てくれると思いますか。</p> <p>⑫ 南海トラフ地震が発生した場合、市外からボランティアが来てくれると思いますか。</p>	



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 7年 11月 14日

伊豆市議会議長 様

議席番号 4 議員名 小川 多美子

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (<input checked="" type="checkbox"/> 一括 ・ 分割) ※発言予定時間 (20分 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 30分) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1.認知症について	<p>高齢化が進む中、市民の健康寿命の伸びと生活の質の維持は最も重要課題です。加齢に伴い、体や脳の機能低下により様々な疾患のリスクが増大することは避けられません。特に早期発見、早期治療が極めて重要でありながら医療技術が進む今でも完治が難しい疾患は少なくありません。自分の意思だけではどうにもならない課題として、私たちは認知症に直面しています。多くの皆さんが不安を抱える認知症は、個人の努力だけでは防ぎきれない普遍的な課題であり、発症後の生活の質は大きく変わってきます。</p> <p>現在伊豆市においても高齢化が急速に進み、アルツハイマー病をはじめとする認知症の有病者数が増加しているのではないかと考えられます。認知症はその特性上、本人や家族の生活に真刻な影響を及ぼすだけでなく、医療・介護・安全・経済など多岐にわたる社会的な課題を引き起こしています。</p> <p>伊豆市の「認知症施策推進大綱」に基づき、誰もが安心して暮らせるまちづくりを実現するため、現状の課題認識と今後の具体的取組について伺います。</p> <p>① 認知症は、生活習慣病がリスクを高め、早期の介入が必要とされますが、市民への認知機能検査の提供や、予防プログラムなどありますか。</p>	市 長

件名	内容	答弁を 求める者
<p>2.モバイルバッテリーによるごみ処理施設の火災リスク対策について</p>	<p>② 介護による心身の疲弊や、専門人材の不足が深刻化して特に夜間や緊急時の支援、介護者の休憩の機会が不足しているのではないかと考えられますが、いかがでしょうか。</p> <p>③ 介護者の心身の負担軽減のため、ショートステイや在宅サービスの利用枠拡大、介護人材の確保や育成に向けた施策はどのようになっていますか。</p> <p>④ 徘徊による行方不明や、判断能力の低下による消費者相談は、どのくらいありますか。</p> <p>⑤ GPS機器の補助を含む行方不明対策、見守りネットワーク強化と、市民への成年後見制度などの利用支援の周知、促進策をどのようになっていますか。</p> <p>近年、全国の自治体に於いて、リチウムイオン電池を搭載した小型充電式電池(モバイルバッテリー、加熱式たばこ等)が不燃ごみや可燃ごみに誤って排出されたことが原因による、ごみ収集車やごみ処理施設での火災事故が多発しています。これらの事故は作業員の安全を脅かし、処理施設の損壊や長期停止、ひいては市民生活への重大な影響を与える深刻な問題です。</p> <p>本市においても、これらの危険な電池の誤排出による事故リスクは喫緊の課題とされます。</p> <p>そこで、本市の現状認識と市民の安全意識向上及び回収体制の強化に向けた対策について当局の見解を伺います。</p> <p>① ごみ処理における現状認識と危険性の周知について、本市のごみ処理施設や収集車両において、リチウムイオン電池が原因とみられる火災や、発電事故はありませんでしたか。もしありましたら具体的な被害状況について伺います。</p> <p>② リチウムイオン電池が不適切な収集をした場合にも</p>	市長

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>たらず危険性について、市民への周知、啓発活動は充分に行われていると認識していますか。また、どのような手段を用いて注意喚起を行っているか、具体的な取組を伺います。</p> <p>③ 回収ルールの明確化と安全対策の徹底について、現在乾電池は集積所に出すことを求めています。市民が、より安全、確実にモバイルバッテリー等を処分できるよう回収ルールの改善を行うか、また電池を外せない製品の排出方法について、どのようにしたら良いか伺います。</p> <p>④ ごみ収集時や処理施設での、発火防止策として電池の「絶縁」の重要性を周知するため、具体的な手法を強化する予定はあるか伺います。</p> <p>⑤ リサイクル回収拠点の活用として、家電量販店などに設置されているJBR C(小型充電式リサイクル協力店)等のリサイクル回収ルートについて市民の利用促進を図るための周知活動を今後どのように展開してしていくか伺います。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 7年 11月 14日

伊豆市議会議長 様

議席番号 11 議員名 三田忠男

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 伊豆市における 医療・介護・福祉・ 教育人材の確保に ついて	<p>少子高齢化社会において、支援を必要とする人々が「住み慣れた地域で暮らし続ける」ためには、医療・介護・福祉等専門支援者の存在は必要不可欠であると考えます。以下伊豆市の現状と課題について伺います。</p> <p>① 伊豆市全体の産業分野において、就労者の充足率はどうなっていますか。</p> <p>② 充足を促進する取り組みの現状を教えてください。</p> <p>③ 医療分野人材確保の民間の取り組みの現状把握と、行政の支援策について伺います。</p> <p>④ 介護分野人材確保の民間の取り組みの現状把握と、行政の支援策について伺います。</p> <p>⑤ 福祉分野人材確保の民間の取り組みの現状把握と、行政の支援策について伺います。</p> <p>⑥ 保育・教育分野人材確保の民間の取り組みの現状把握と、行政の支援策について伺います。</p> <p>⑦ 伊豆市全体での雇用確保のため、民間と連携した奨学金制度の拡充、住居の支援等を行いませんか。</p>	市長 教育長

件名	内容	答弁を 求める者
2. スポーツアスリートによる地域活性化への行政支援について	<p>スポーツの意義や効果は、人々の生活そのものに大きな影響を与えていると思いますが、最近、伊豆市内でスポーツアスリートの活動が行われています。</p> <p>伊豆市としての取り組みを、以下、伺います。</p> <p>① 市長、教育長のスポーツに対する意義や効果等を伺います。</p> <p>② スポーツの振興は、政策として伊豆市の活性化に寄与するのか伺います。</p> <p>③ 児童・生徒の発達段階に応じて、スポーツの意義や効果を伺います。</p> <p>④ 最近、スポーツアスリートの活動が伊豆市で行われていますが、どのような認識でいるのか伺います。</p> <p>⑤ スポーツアスリートによる講演等を学校で取り入れています。導入目的・効果を伺います。</p> <p>⑥ 行政としてスポーツの支援策の検討状況や、具体的な取り組みについて伺います。</p>	市長 教育長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和7年11月13日

伊豆市議会議長 様

議席番号 12 議員名 小長谷順二

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問(一括・分割) ※発言予定時間(20分・30分) ②質疑 ③討論(反対・賛成) ④その他()
発 言 の 要 旨	
件 名	内 容
1. 情報セキュリティ対策	<p>地方自治体や各種団体がサイバー攻撃の標的となり、情報漏洩やシステム停止といった被害を受ける事例が相次いでいます。自治体は住民の個人情報や行政の重要データを扱うため、サイバー攻撃の標的になりやすいという実情があり近年では、その手口も巧妙化・複雑化しており、セキュリティ被害が増加しています。</p> <p>警察庁の広報資料によると2024年は、自治体や各種団体に対するサイバー攻撃の被害が多数報告されています。</p> <p>令和5年12月議会の一般質問で特殊詐欺やフィッシング詐欺等の現状と課題について質問しました。本年6月の静岡県警の発表によると、令和6年の特殊詐欺認知件数は383件で、前年と比べ30件増加し、さらに深刻なのは被害額で約16億300万円と、前年に比べ約8億4,400万円も増加しています。</p> <p>地方自治体などの公共機関では住民情報や行政サービスに関わるデータが狙われるケースもあり、社会的な影響が懸念されています。また情報漏洩による詐欺被害に市民が巻き込まれる可能性もある為、情報セキュリティに対する伊豆市の現状と今後の更なる対策について以下質問いたします。</p> <p>① 自治体DXが進む中で、当市のセキュリティ対策の現状は。</p> <p>② 自治体情報セキュリティクラウドとどのように連携し、実効性のある防御体制を確立する具体的な計画はあるのか。</p> <p>③ 高齢者を標的とする「スマホ決済詐欺」「QRコード詐欺」「不正アプリ被害」等の状況を把握し対策を講じているのか。</p>
	答 弁 を 求 め る 者
	市長 教育長

件名	内容	答弁を 求める者
2. 職員の人材確保・育成について	<p>④ G I G Aスクール構想を進める中、情報資産を保護し、教育現場での安全な I C T活用を実現するための教育情報セキュリティポリシーは順調に運用できているのか。</p> <p>多くの地方自治体で、職員の人材確保と育成は喫緊の課題となっています。若年層の採用環境は厳しさを増しており特に専門職では応募者が少ない状況が見られます。また、多様な働き方への意識向上やワーク・ライフ・バランスの重視といった社会情勢の変化を背景に、若年層の早期退職も増加傾向にあります。</p> <p>近年の労働力不足は一時的なものではなく、長期的な傾向にあり、民間企業との人材獲得競争が激化しています。また、自治体間の人材の奪い合いも顕在化しているため、従来の採用・育成方法では職員の確保が困難になっています。</p> <p>当市においても市民サービスの向上と行政改革を目的に、窓口において包括的なアウトソーシング業務委託を進めています。</p> <p>第2次伊豆市総合計画に掲げる、めざすまちのテーマ「いつまでも住み続けたい 次世代に笑顔をつなぐ礎づくり」の充実した行政サービスの提供を進める上でも人材の確保が重要です。他の自治体との差別化を図り、伊豆市に行きたい、伊豆市の職員になってまちづくりに貢献したいと思ってもらえるよう、職員の人員不足解消に向けた取り組みが必要です。職員採用の現状と課題、育成について以下質問いたします。</p> <p>① 採用試験の見直し状況は。</p> <p>② 中途採用や専門人材の通年採用についての考えは。</p> <p>③ 雇用条件の改善は。</p> <p>④ 職員が主体的にスキルアップに取り組める環境づくりは。</p> <p>⑤ D Xや大規模災害対応など、外部人材の活用や広域での人材確保の検討は。</p>	市長



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和7年11月7日

伊豆市議会議長 様

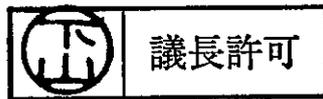
議席番号 1 議員名 尾垣 和則

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (<u>一括</u> ・ 分割) ※発言予定時間 (20分 ・ <u>30分</u>) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()
発 言 の 要 旨	
件 名	内 容
1 認知症の周囲の 理解とその対応	<p>国では、2025年には高齢者の5人に1人が認知症になると推計しており、本市においても「誰もが当事者になりうる時代」をむかえています。その意味で認知症が私たちにとって益々身近なものとなってきていると共に、認知症を有する方やそのご家族をめぐる課題は、地域社会における重要なテーマとなっております。</p> <p>2024年1月1日に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されました。この法律の目的は、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことのできる社会の構築です。この目的に向かって、まず大切なことは、医療・介護・体制の整備のみならず、市民一人ひとりが正しい理解と温かい支えあいの意識を持つことです。</p> <p>本市では「認知症サポーター養成講座」や啓発イベントとして「認知症市民教室・相談会」を行うなど、より幅広い世代に理解を深めてもらうための取り組みを進めていると承知していますが、更なる広がりと継続が求められています。</p> <p>そこで「認知症の周囲の理解とその対応」について、以下質問いたします。</p> <p>① 認知症に関する正しい知識の普及と偏見の解消に向け、本市はどのような啓発活動を展開しているのか、また、今後は学校教育や地域活動など、より幅広い世代に理解</p>
	答 弁 を 求 め る 者
	市長 教育長

件名	内容	答弁を 求める者
<p>2 避難所となる学校施設の防災機能強化の推進</p>	<p>を深めてもらうために、どのような取り組みを計画しているのか、お伺いします。</p> <p>② 本市として認知症の早期発見を目的とした、スクリーニング検査や簡易チェックの導入・推進について、どのような取り組みを行っているのか、お伺いします。</p> <p>③ 地域包括支援センターや医療機関との連携を通じて、市民が気軽に相談・受診できる体制をどのように整えているか、お伺いします。</p> <p>④ 地域における支援体制の構築は、本市における「認知症にやさしいまちづくり」の現状と、地域包括支援センター・民間事業者・地域住民との協働体制の強化について、どのように取り組んでおられるのか、お伺いします。</p> <p>⑤ 認知症の方を支えるご家族や介護者が心身ともに疲弊してしまうことは、介護放棄や家庭崩壊にもつながりかねません。そこで、本市では介護者への相談支援、レスパイト（休息）サービス、家族会や交流の場の支援などについて、どのように取り組まれているのか、また、今後さらなる支援の充実についての見解をお伺いします。</p> <p>災害時に、地域住民の避難所に指定する学校体育館の防災機能について質問します。</p> <p>学校体育館は子どもたちの教育の場であり、災害時には地域の避難所としても重要な役割を担います。空調設備の整備を加速させ、児童生徒に加えて、避難者も安心して過ごせるようにすることが大切だと考えます。</p> <p>激甚化・頻発化する自然災害において、避難所となる体育館に空調設備が整備されていないことなどから、被災後の避難生活の疲労やストレスで亡くなる「災害関連死」の割</p>	<p>市長 教育長</p>

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>合も、残念ながら増加しています。</p> <p>そこで、以下の点について質問します。</p> <p>① 指定避難所となっている当市の小学校のうち、どの学校の体育館の空調設備が設置され、かつ設置率としては何%になりますか。</p> <p>② 学校体育館の空調設備の整備を進める時だと考えますが、市としての考えや、今後の方向性を伺います。</p> <p>③ 災害時には多くの場合、停電が想定されます。平時から停電に備え、非常用に発電機を併設することや、ガスで動くエアコン設置することも効果的だと考えますが、如何でしょうか。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和7年11月 6日

伊豆市議会議長 様

議席番号 9 議員名 間野 みどり

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
伊豆市美術館建設 について	<p>美術館の問題は、私が議員になる9年前以前から市の課題だと捉えています。この9年間で幾度か一般質問した議員がいたことは認識しております。</p> <p>ここまで私たちも、全然触れてこなかったわけではなく、行政視察の折に、「高崎美術館」、静岡にある「芹澤銈介美術館」や「駿府博物館」に出向き、意見を伺ったこともありました。また個人的に、小布施にある「北斎館」、「杉原千敏記念館」を見たり、会派研修では、「川端龍子記念館」等を見たり、いつも心のどこかに市民の皆様と同様、美術館建設の今後の方向性について気になり、考えていました。</p> <p>しかし、今まで伺ったどの施設の方に話を聞いても、“市が所蔵する日本画約120点を展示する美術館運営は難しいだろう” “ランニングコストの面からも財政的に難しい” との答えが多かったのが事実です。</p> <p>この質問をすることに決めて、伊豆市のホームページにあります「伊豆市美術館に向けた取り組みについて」「(仮称)伊豆市美術館基本構想答申書」等を見ても、これまで、平成26年12月の伊豆市美術館建設準備委員会設置要綱制定から令和4年12月の伊豆市美術館建設の今後の進め方及び所蔵美術品の活用についてと、細やかに掲載</p>	

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>されています。そして最後に、「伊豆市美術館建設については、美術館単独での建設は建設費やランニングコストの面から伊豆市の財政的に困難であるため、民間活用による美術館機能を備えた複合施設の検討を進めております。今後の美術館建設に関する情報については決まり次第随時更新していきます。」とあります。</p> <p>今までの事を再確認した上で、市民から今後の美術館建設について時々声に出してくださる方もいますので、質問します。</p> <p>① 市のホームページでは、令和4年12月5日を最後に、前に進んでいないようですが、その後の取り組みと現状について説明をお願いします。</p> <p>② 修善寺温泉場地区でまちづくりについての検討会が開催されたようですが、どのような検討がなされ、市の政策にどのように反映されるのでしょうか。また、検討の中では美術館に関する位置付けなどは協議されたのでしょうか。</p> <p>③年間美術品管理調査予算で、令和5年度は158万円、令和6年度は294万円、令和7年度は815万円と、毎年計上されています。美術品の管理や保存の為に、膨大な費用が必要なこともあると思いますが、どのようなことにこれだけの費用がかかり、何のために必要なのか、市民にはよく分からない部分もあると思いますので、経費の目的と内容の詳細を、説明してください。</p> <p>④ 美術品の年間管理に多くの費用をかけていますが、ここまでして市が美術品を所有する意義や価値はどのようなところにあるのか、考えを伺いたいと思います。せつかく美術品があるのですから、美術館建設が無理でも、時々市民が美術に触れる機会を考えたり、活</p>	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>用方法を模索したりしているのでしょうか。</p> <p>⑤ デジタルミュージアム案もあるようですが、活用状況はどのような状況ですか。また今後内容を充実してより多くの方に見てもらえるようにしていく考えはありますか。</p> <p>⑥ 市民の中には、市内の様々な施設の一部にコーナーをつくり、共存する美術館をつくと良いのではとの声がありますが、もしそのような声を実現するとしたら、どのような実施方法が考えられますか。また、どれくらいの事業規模なら実施が可能と考えますか。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 7年 11月 13日

伊豆市議会議長 様

議席番号 2 議員名 飯田 大

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
修善寺中学校、修善寺南小学校と周辺の現状と将来構想について	<p>今年4月1日に伊豆中学校が開校し、修善寺中学校、天城中学校、中伊豆中学校は閉校となりました。新中学校は生徒数452名、「社会でよりよく生きる力を育む」方針が掲げられ学生一人一人が探究心、課題解決力を備えて世界とつながる人の育成が目標とされています。</p> <p>実績として「伊豆タイム」の実施、東京大学との教育・研究交流連携事業に関する協定の締結、慶應義塾大学とのXR防災教育、部活動の活躍として、吹奏楽部は静岡県吹奏楽コンクールで金賞受賞という輝かしい実績を挙げられました。9月21日に行われた沼津商業高校との特別演奏会には600名の来場者がお見えになり、学校施設と生徒の活躍を見ていただきました。</p> <p>一方閉校となった3校は公共施設等総合管理計画に基づき、敷地や建造物の活用や処分が検討されています。伊豆市立地適正化計画では、未利用施設や老朽化した施設の整備・統合・借地解消を進め、まちづくりや交流の場として役立てるとあります。柏久保地区は拠点まちづくり方針に掲げられているとおり、修善寺駅から1km圏内で利便性があり、利用多様な価値観を備えた地域振興が見込まれると考えますが、以下について質問します。</p>	市長 教育長

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>① 修善寺中学校の管理と将来構想はどのように計画されていますか。</p> <p>② 修善寺南小学校の校舎等の改修計画はありますか。</p> <p>③ スクールゾーン内の道路通行時間規制については今後どのようになりますか。</p> <p>④ 市道駅前柏久保線(通称:猫坂)道路工事の進捗状況はどのようになっていますか。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 7年11月11日

伊豆市議会議長 様

議席番号 3 議員名 浅田 藤二

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (<u>一括</u> ・ 分割) ※発言予定時間 (20分 ・ <u>30分</u>) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
地元産業の育成	<p>ワサビ栽培は、延享元 (1744)年八代将軍吉宗公の時代、天城山内岩尾地蔵伽藍・滑沢の2か所で試作したと、古文書に記載があります。これは、浄蓮の滝駐車場にあるワサビの祖といわれている板垣勘四郎翁の碑文の記載と一致します。以来、天城・中伊豆地区でワサビ栽培は盛んとなり、文化5 (1808)年、湯ヶ島村ではワサビ仲間ができ、175軒が栽培に従事していたようです。記録では、金600~700両(現在の価格に換算すると1両を10万円として6,000万円以上)の安定収入があり、天保飢饉の直後、米の値段が現在のよう高値止まりしても、天城山周辺の集落は、米以外のワサビをはじめとする、シイタケ、炭などの産物の取引により、たいへん豊かな生活であったと推察されます。その後、江戸前寿司が作られ、売られるようになり、ワサビの需要は急速に伸びていったと予想されます。</p> <p>また、シイタケ栽培の指導を行った板垣勘四郎翁が、ワサビ栽培をはじめ「白い飯を食べたければ炭焼きのところに行きなさい」といわれるほど、炭焼きの仕事も高収入だったようです。</p> <p>江戸時代から、天城山周辺に暮らした私たちの祖先は、日本の中でも雨量の多いこの地にどんな作物栽培が合うのか、人々が豊かに暮らす方法や産業は何なのかを考えぬい</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>た、その答えが、ワサビ、シイタケの栽培、山の仕事に従事し、炭を売ることだったのではないのでしょうか。</p> <p>つまり、今ここにあるもので、地元の皆さんがかかわり合い収入を得られるものの代表がワサビ、シイタケの栽培と山の仕事ではないのでしょうか。家庭を持ち、生業になる産業であることから、ここに力を入れていくことが、Uターンや移住につながっていくと考えます。今回は、ワサビ栽培についてお伺いします。</p> <p>① 気候変動により、ワサビ苗の生産がたいへん難しくなってきました。特に7月から10月に苗の供給が難しくなり、6月までに苗を大量に生産して、高機能の冷蔵庫を購入し長期間保存し植える、ぎりぎりの選択をしているのが現状です。冷涼な北海道の気候を利用して苗を育てる育苗業者から十数年前に育苗危惧の声があがり、3年前に生産中止に追いこまれました。古（いにしえ）から天城山周辺の集落を支えてきた産業のピンチです。</p> <p>ご所見をお伺いします。</p> <p>② 十数年前に、山葵組合から要望した育苗施設の建設について、市を交えた関係者で話し合いがありましたが、現在まで十数年動きがない理由、経緯についてご説明ください。</p> <p>③ 毎年のように、初夏から秋にかけて気温が上昇していることから、ワサビの苗不足は、全国で起きている問題です。生産量、質とも日本一を誇る伊豆市に育苗施設ができることは、ブランド化の確立につながると考えます。現状を考えれば、積極的に関係者と協議し、国や県の補助を活用しながら、早急に取り組まなければならないと考えますが、今後の展開について、お考えをお聞かせください。</p>	